

[523]九州大学大型計算機センターニュース : No. 523

<https://doi.org/10.15017/4791849>

出版情報 : 九州大学大型計算機センターニュース. 523, pp.1-4, 1995-07-25. 九州大学大型計算機センター
バージョン :
権利関係 :



九州大学

大型計算機センターニュース

No. 523

1995. 7. 25



福岡市東区箱崎六丁目10番1号
九州大学大型計算機センター

目 次

1. 利用者の質問・要望等のための e-mail 窓口	1
2. mnews(Mini News Reader) の公開について	1
3. Fortran 90 のテスト公開のお知らせ (UXP)	2
4. XYプロッタ装置等の撤去計画のお知らせ	2
5. 平成7年度(後期) ライブラリプログラム開発計画募集のお知らせ	2

1. 利用者の質問・要望等のための e-mail 窓口

センター利用に関する質問・要望等の e-mail は下記のアドレスで受け付けます。ご利用ください。

e-mailアドレス : request@cc.kyushu-u.ac.jp

これまで a70052a@kyu-cc.cc.kyushu-u.ac.jp を利用されていた方も上記をお願いします。

なお、電話等による問い合わせについてはセンター広報の裏表紙に記載していますので参照してください。

(e-mail : request@cc.kyushu-u.ac.jp)

2. mnews (Mini News Reader) の公開について

UXP における電子ニュース/電子メールを読むための小型のニュースリーダとして mnews を正式公開します。mnews は, gnus などに比べ小型, 高速なニュースリーダであり, ユーザーフレンドリーなインターフェースを有しています。mnews の操作法については,

/usr/local/doc/mnews

以下の doc 等を御参照ください。

(ネットワーク室 内線 2524)

3. Fortran 90のテスト公開のお知らせ(UXP)

Fortran 90 を 1995 年 8 月 1 日 (火) よりテスト公開します。動作 OS は UXP/M のみで、汎用機 M-1800/20、ベクトル計算機 VP2600/10 で利用できます。FORTRAN 77 のプログラムは、基本的にそのまま実行可能です。コマンドは frtex です。使用方法、オプション等は、“ex” がついただけで frt コマンドとほぼ同じです。また、詳しい機能は man frtex によりオンラインで検索できます。なお Fortran 90 の文法は、市販の本を御覧下さい。

また、使い勝手の感想や要望する機能など、御意見を電子メールでお寄せいただければ幸いです。

(ライブラリ室 内線 2509)

e-mail : f70029a@kyu-cc.cc.kyushu-u.ac.jp

4. XYプロッタ装置等の撤去計画のお知らせ

本センターのXYプロッタ装置、紙テープリーダ装置、光学文字読取装置(OCR)、AD変換装置は、年々利用者が減少していることや、それらの消耗品生産が中止されたものがあることなどでサービスを続けることが困難になってきています。

本センターでは平成8年1月に汎用コンピュータシステムの更新を計画していますが、周辺機器の整備について検討した結果、平成7年12月に上記の機器を撤去する予定で作業を進めています。ついで、上記装置を利用している利用者の方は、早めに利用方法の変更等の措置を行ってください。

(システム運用掛 内線 2517)

5. 平成7年度(後期)ライブラリプログラム開発計画募集のお知らせ

ライブラリプログラム開発計画募集要領(後述)に基づき、標記開発計画を下記のとおり募集します。多数の応募を歓迎致します。なお、後期分に関しては、センターが繁忙期に入ることから、多数の長大ジョブの実行が必要であると考えられる場合は、原則として来年前期に申請することをお願いします。

記

1. 応募資格 本センター利用有資格者
2. 応募締切 平成7年8月31日(木)
3. 応募手続 所定の申請書に必要事項を記入の上、ライブラリ室(内線 2509)まで提出する。
 - 申請書および募集要領は、ライブラリ室に用意してありますので、電話、メール等で請求して下さい。
 - 電子メールによる申請も可能です。下記 e-mail アドレスまで連

絡をお願いします。折り返し募集要項、申請書の FORMAT をお送りします。

連絡先 : sakai@cc.kyushu-u.ac.jp

研究開発部・境 理恵子 宛

4. 対象課題
- a) 広く各分野で使われる可能性のあるプログラムの開発.
 - b) ある専門分野に限られるが、その分野では広く使われる可能性のあるプログラムの開発.

なお、開発されたプログラムは、なるべく早い時期にセンターのライブラリプログラムとして登録および公開するものとしますが、これら開発に関する事項の詳細については、次項に示す募集要領を参照してください。

ライブラリプログラム開発計画募集要領

1. 対象となる課題

- a) 広く各分野で使われる可能性のあるプログラムの開発.
- b) ある専門分野に限られるが、その分野では広く使われる可能性のあるプログラムの開発.

ただし、次のような課題については原則として認めない。

- i) 一般的な手法が確立されていなくて、研究的性格の強い課題.
- ii) 他センター等のプログラムの書替え・移植において、その作業が極めて容易であると考えられる課題.

2. 公募は年2回（前期，後期）とする。申請された課題は、締切の翌月のプログラムライブラリ委員会（以下，委員会）で審査する。ただし、開発に際し、多数の長大ジョブの実行が必要であると考えられる場合は、原則として前期に申請し、繁忙期に入る前（11月位）までに開発を終了するものとする。

前期締切：2月末日（開発開始は 4月1日予定）

後期締切：8月末日（開発開始は10月1日予定）

採用された課題は、センターニュースで広報する。

3. 開発者の義務

- i) 開発終了後、早い時期にライブラリプログラムとして登録および公開するものとする.
- ii) 利用者のための「利用の手引き」を作成する。これを終了報告書として委員会で審議する.
- iii) 開発したプログラムの概要あるいはその使用法をセンター広報に掲載する.

4. 開発に係る経費等

- i) 採用された課題に対して、ライブラリ開発用の登録番号を割当て、それに係る計算機利用負担金は、センターで負担するものとする。計算機利用負担金の限度額は、申請時の計算時間により別に定める。

- ii) 計算機利用負担金以外で開発に必要な旅費，雑費等は，この開発計画による負担の対象とはしないので留意すること。

5. 開発作業

- i) ライブラリ開発は年度毎（4月～翌年3月）とする。開発継続の場合には，十分な資料とともに継続申請書を提出する。
- ii) 開発継続の場合にも，完成した範囲内で登録手続きをとることが望ましい。
- iii) 同一課題での継続は，原則として3年までとする。

6. その他

- i) 申請書に不明な個所があったり，申請計算時間が過大であると思われる場合や，開発経過が不首尾であると考えられる場合は，委員会にて口頭説明を求めることがある。
- ii) サブルーチンまたは関数副プログラムのライブラリの場合，既に登録してあるものと呼び出し名が同一にならないように注意すること。
- iii) オンラインマニュアル（計算機に格納され利用可能なマニュアル）を用意することが望ましい。

申請計算時間と予算額

計算時間(時間)	1	2	3	4	5	6	7	8	9
予算額(万円)	10	15	20	25	30	35	40	45	50

【注意】

計算時間が9時間を超過する場合，ライブラリ委員会の審議を経て予算額を決定します。

(ライブラリ室 内線2509)

e-mail: f70029a@kyu-cc.cc.kyushu-u.ac.jp